

水道料金は 値下げできる



さいたま市の水道料金は他市に比べ高く、市民に重い負担になっています。その一方で大きな黒字を出し、内部留保を増やし、資本増強を進めています。耐震化や老朽管の更新など必要な事業は計画通りにすすんでいるため問題はありません。

巨額の黒字分は高すぎる水道料金の値下げで市民に還元するべきです。市民のみなさんとの共同でくらし応援の市政に転換するよう求めています。

さいたま市の水道料金は高すぎる！

●政令市…**4**位 ●近隣市の中で**1**位

水道会計は黒字決算！

●黒字…**58**億円 ●内部留保…**94**億円

(2017年度水道会計決算)

くらしを支える財政へ**転換**を 税・公共料金の値下げは市民の願い

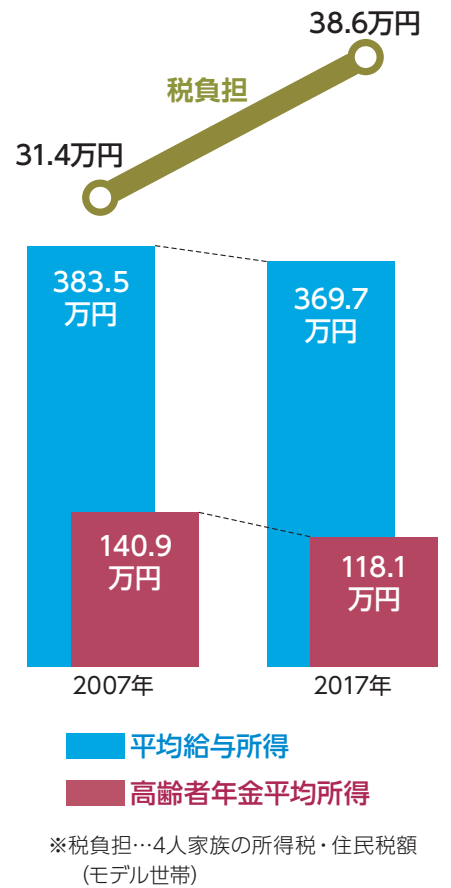
ご協力ありがとうございました！

市民アンケート
結果報告

暮らしが悪くなった…60%
理由1位→税金・公共料金が増えた(54%)
さいたま市に力を入れてほしい施策1位
税金や公共料金の引き下げ…67%



市民のくらしは？



くらしが悪くなった理由は税・公共料金の負担が重い、という回答が一番多く、市に力を入れてほしいことは税・公共料金の引き下げでした。

また決算審査での党市議団の質問を通じて、市民の所得が現役世代も高齢者も下がっていることが明らかになりました。その一方で、モデル世帯での所得税・住民税負担は増えています(右グラフ)。市民の実感だけでなく、数字でもくらしの厳しさは明らかです。所得が下がり、税負担が増えてたいへんな市民のくらしを応援するためにも水道料金をはじ

めとした公共料金の引き下げが必要です。

さいたま市は一般会計・特別会計あわせて63億円の黒字で、基金を699億円ため込んでいます(2017年度決算)。また高齢者・障害者福祉を17億円カットしながら、大型開発を次々進めて土木債残高が1328億円(前年比79億円増)になっています。

日本共産党市議団は、福祉削減、大型開発優先という財政のあり方を転換して、市民の大切な税金を市民のくらしを支えるため、子育てや福祉に優先して使うよう求めました。

キケンな学校**ブロック塀** 撤去・改修の補正予算が成立



日本共産党市議団が求めてきた建築基準法に違反する危険な学校ブロック塀の撤去・改修をすすめる補正予算が9月議会に出され、全会派の賛成で成立しました。

党市議団が求めた私有地の危険なブロック塀改修・撤去の補助制度についても市は創設を表明しました。

障害者医療費支給を また**カット**

心身障害者医療費支給制度に所得制限を導入する条例が出されました。3年前に同制度に年齢制限を導入したのと合わせて5億円もの負担増になります。税金のムダづかいをあらためれば福祉をカットする必要はありません。

